



簡易説明書（'12-03-10）



## 既知の制限および改定履歴

### ●既知の制限

- 1) 各種集計において印刷ボタンが存在するにも関わらず、印刷できない個所があります。今後のバージョンアップにて対応いたします。
- 2) 一台のパソコンで単独利用する場合でも、LAN 配線されていない場合は、動作しないケースがあります。現在、対応を検討中です。

### ●改定履歴

- 1) 平成 20 年 1 月 5 日
  - ・ 公開第一版
- 2) 平成 20 年 1 月 6 日
  - (仕様変更)
  - ・ MacOS X の実行形式ファイルを UniversalBinary に変更
  - (誤謬修正)
  - ・ データ退避によって作成されるデータに一部不正なデータが含まれてしまう誤謬を修正
- 3) 平成 20 年 1 月 10 日
  - (機能追加)
  - ・ 各台帳,元帳一覧画面で、取引先の検索を可能とした
  - (機能改善)
  - ・ 各伝票の終了時の処理方法を改良し、伝票入力終了してから一覧に戻るまでの速度を速くした
  - (誤謬修正)
  - ・ 月内決済の取引先の繰越金計算がごくまれに一回目の伝票保存で行なわれない誤謬を修正
  - ・ ネットワークで複数利用する際に、別々のクライアントから秒単位まで同じタイミングで新規伝票を起票した際に動作が異常となる誤謬を修正
- 4) 平成 20 年 1 月 11 日
  - (機能改善)
  - ・ 各伝票一覧画面で、表示（検索）する伝票の日付範囲を指定できるようにした
- 5) 平成 20 年 1 月 16 日
  - (機能追加)
  - ・ 在庫管理機能を利用可能にした（ベータ利用）

(誤謬修正)

- ・顧客の元帳 / 台帳の前月残高の修正が0円の場合反映されない場合がある誤謬を修正

6) 平成 20 年 1 月 27 日

(誤謬修正)

- ・明細の単価や数量に 1,000 万台または小数点以下第二位までの数値が入力された時に、最終桁の丸めに誤差が発生する不具合を修正 → あわせて消費税や合計金額を計算するロジックを改良
- ・プログラム機能追加時に商品マスタが登録できなくなっていた誤謬を修正

7) 平成 20 年 1 月 31 日

(誤謬修正)

- ・請求書 / 仕入台帳画面および台帳 / 元帳一覧画面で、「前月」「次月」ボタンが正しく動作しない問題を修正
- ・伝票を開こうとするとお客様のパソコンの設定によっては不正なエラーで終了してしまう問題を修正

(仕様変更)

- ・同時に開くことができる売上 / 仕入伝票の数を 10 件までに制限しました
- ・伝票一覧の横幅のレイアウトを変更しました。

(機能改善)

- ・マウスをポイントするとヘルプが表示される場所を増やしました。

8) 平成 20 年 2 月 26 日

(機能追加)

- ・請求書、仕入台帳を印刷する際に伝票に異常がないかチェックするルーチンを追加 (伝票入力中にパソコンの電源が切れたり、異常終了した場合などに発生するトラブルを事前に検出するため)

9) 平成 20 年 6 月 18 日

(誤謬修正)

- ・一度入力された仕入伝票を修正したときに、日付情報が正しく保存されず、仕入台帳や元帳、元帳一覧に正しく金額が計上されない不具合を修正

10) 平成 20 年 7 月 8 日

(誤謬修正)

- ・Windows の場合、端数の四捨五入が正しく動作しない場合がある不具合を修正

(機能追加)

- ・納品書の様式を追加し、売上傳票単位での納品書 / 請求書 / 納品書(控)を印刷できるようにした

11) 平成 21 年 6 月 6 日

(機能追加)

- ・集計機能をはじめとする各種機能や伝票様式の追加など大幅に刷新

(誤謬修正)

- ・多数の誤謬修正を実施

12) 平成 21 年 9 月 28 日

正式バージョンとして 1.0 を公開、多数の誤謬修正と機能追加を実施

(重要な誤謬修正)

- ・取引先名、商品名、商品明細など文字列を入力する部分（金額や数量、日付を入力する項目以外のすべて）で半角のシングルクォート（'）を使用するとデータが登録されない制限を緩和

13) 平成 21 年 10 月 2 日

(機能追加)

- ・商品別集計を日次と月次に分離

(誤謬修正)

- ・棚卸一覧表の印刷ボタンが動作しない場合があった誤謬を修正

14) 平成 21 年 10 月 16 日

(機能改善)

- ・集計帳票のレイアウトの調整

(誤謬修正)

- ・売上単価表がエラーとなる場合があった誤謬を修正

- ・環境設定の基本入力担当者が記憶されなかった誤謬を修正

- ・売上集計表で複数月を印刷した場合、月の表示が不正になる誤謬を修正

(今回からの制限事項)

- ・右クリックによる「コピー」「ペースト（貼付）」などが使用できなくなりました。次回メジャーリリースまでには元に戻す予定です。右クリックの代わりに Mac では Cmd-X,C,V を、Windows では ctrl-X,C,V をご利用ください。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

15) 平成 21 年 11 月 7 日

(仕様変更)

- ・担当者集計の内容を変更

(誤謬修正)

- ・明細の備考の先頭に付加されている '/' まで印刷されてしまうバグを修正

16) 平成 21 年 11 月 12 日

(仕様変更)

- ・売上傳票時に印刷する納品請求書に振込先口座を印字するように変更ならびに請求金額の文字を拡大

17) 平成 21 年 11 月 28 日

(誤謬修正)

- ・伝票転記時に明細表示が誤っていた部分を修正

(仕様変更)

- ・担当者別集計の根拠明細表示をやや詳細にし、明細をダブルクリックすると該当伝票が表示されるように変更

18) 平成 22 年 1 月 1 日

(誤謬修正)

- ・売上傳票と入金伝票を個別に結びつける処理で、入金伝票で一度設定した結びつけ情報が次に入金伝票を開くと消えてしまう誤謬を修正

19) 平成 22 年 1 月 12 日

(機能改善)

- ・請求書 / 仕入台帳 / 売上元帳 / 仕入元帳において、以下の機能を追加
  - 指定年月の残高を一覧に表示するようにした
  - 指定年月の合計金額を表示するようにした
  - 月を入力後「ENTER/RETURN」を押すと一覧が自動更新される

20) 平成 22 年 1 月 23 日

(機能改善)

- ・各伝票において諸口に電話番号を付加するなど、細かい情報を追加した

(機能追加)

- ・仕様が確定していなかった発注書や受注票の印刷ができるようにした
- ・発注書伝票に直送先や直送備考を登録できるようにした
- ・取引先に掛率を設定できるようにし、販売側の単価入力時に反映できるようにした (ただし掛率で処理する取引先の場合は伝票入力時の単価記憶はできません)

21) 平成 22 年 1 月 26 日

(誤謬修正)

- ・取引先マスタの新規登録でエラーが出て登録が出来なくなっていた点を修正

22) 平成 22 年 2 月 3 日

(誤謬修正)

・売上入力で、二枚請求納品タイプの印刷の時、口座番号が印刷されていない  
かった不具合を修正

23) 平成 22 年 2 月 9 日

(仕様変更)

・入金 / 支払伝票以外の「過去明細」を「明細参照」と変更し、仕様を以下  
のように改め、隠し機能であった「SHIFT」キー併用の公開も行った。

(1)最初にタブを開いたときは未検索状態

(2)何も入力せずに「検索」ボタンを押したときは該当取引先の関連明細を  
一覧表示

(3)キーワードを入力して「検索」ボタンを押したときは商品名からその  
キーワードを検索し、該当する関連明細を一覧表示

(4)上記(2)(3)において「SHIFT」キーを同時併用して「検索」ボタンを押  
すと、他の取引先の明細も検索する → 他の取引先との比較用途に使えます

24) 平成 22 年 2 月 10 日

(機能追加)

・今まで隠し機能であった「レジモード」を正式に公開。

→ 「SHIFT」キーを押しながら「売上」ボタンを押すと表示されます

→ バーコードリーダー併用の時に便利です

(リーダーのポストキー設定を「RETURN」にする必要があります)

→ ただし伝票は内税扱いで処理されます

25) 平成 22 年 2 月 21 日

(誤謬修正)

・取引先マスタを編集するとき、単独利用の場合エラーが出てしまう誤謬を  
修正

26) 平成 22 年 3 月 1 日

(誤謬修正)

・当社開発環境をアップグレードしたところ、とくに WindowsVista 以降  
の環境で単独利用されている場合にデータの保存が正しくされない現象が  
発生したため、旧環境でビルドし直した

27) 平成 22 年 3 月 5 日

(機能追加)

・レジモードにおいて、レシート印刷をサポートした

28) 平成 22 年 3 月 10 日

(誤謬修正)

- ・一部のプリンタ（特に京セラなどの複合機）で、請求書などの横幅が収まりきらないことがある問題を修正した

29) 2010年4月28日

（仕様変更）

- ・台帳と元帳の一覧表示仕様を変更し、未来であっても伝票が存在する場合はそこまで表示するように変更

逆に、売掛 / 買掛残がなく、最後の取引以降の月は「-（ハイフオン）」表示とするように変更

30) 2010年4月29日

（仕様変更）

- ・見積 / 受注 / 売上に関し、郵便番号が登録されていないときは「〒」マークなどを印刷しないように変更

（機能追加）

- ・見積書で印刷時に「日付印刷の有無」「消費税という用語を詳しく印刷する」オプションを追加

31) 2010年5月1日

（仕様変更）

- ・バックアップファイルのフォーマットを変更した。これにより、Ver D50以前と Ver D51以降のフォーマットで互換性が喪失したが、Ver D51以降のバックアップファイルであれば、バージョンをまたがって復旧できるようになった

（機能追加）

- ・経理に未転記の伝票を一覧表示する機能を追加した（他のソフトに自動転記する機能ではなく、手書き帳簿・パソコンソフトいずれにせよ転記漏れを防ぐための補助機能として）

- ・レジモードにおいて、入金種別を三種類設定できるようにした

32) 2010年5月3日

（仕様変更）

- ・売上傳票の内部処理を大幅に変更し、これまで

- ・修正した伝票についてはその修正内容が必ず反映されてしまい
- ・誤って明細を削除した場合など、取り返しがつかなかった

仕様であったのを、

- ・元の伝票情報や明細には手をつけず、
- ・いくら伝票が修正されても
- ・保存確認の時に「いいえ（保存しない）」を押せば

- ・元の伝票の状態に戻る

ようにした。現在は、売上傳票のみの仕様変更にとどまっているが、近日中に順次他の伝票もその仕様に変更する予定。

- ・上記処理に伴い、売上傳票自体の複製ができるようになった

### 33) 2010年5月12日

(誤謬修正)

- ・明細参照で「SHIFT」を押しながらダブルクリック（またはENTER）しても該当伝票を開くことができなくなっていた誤謬を修正

(仕様変更)

- ・明細参照の表示形式ならびに転記方式を変更 → このあたり、仕様が流動的ですが、「別伝票の明細を自伝票に複製転記する」「別伝票自体を開く」という基本機能に変更はありません。申し訳ございません。

### 34) 2010年5月13日

(誤謬修正)

- ・売上傳票において、得意先を入力した際に消費税情報や担当者の項目に不正な情報が再セットされてしまう現象を修正した

### 35) 2010年5月20日

(仕様変更)

- ・データを退避するときに経理元帳 / 台帳の数値を指数表現ではなく正数表記とした

### 36) 2010年5月21日

(誤謬修正)

- ・売上傳票において、受注転記を行った場合、商品がすべて内税扱いになってしまう誤謬を修正

### 37) 2010年6月5日

(仕様変更)

- ・在庫管理の方法を各支店毎に処理することができるようにした。これにより当初の仕様であった完全在庫管理が実現  
→ バージョンアップ後、在庫数量がおかしい場合は、大変お手数ですが「SHIFT」+「CTRL」キーを同時に押しながら「棚卸一覧」ボタンを押して在庫情報を作成し直してくださいませ。

(誤謬修正)

- ・納品書（売上傳票）において文字数や桁数が多い場合に、枠をはみ出してしまう誤謬を修正

38) 2010年6月8日

(機能追加)

・すべての伝票一覧において「相手先」を入力した後、「SHIFT」を押しながら「ENTER/RETURN」を押すことにより、伝票情報の「取引先名 / 件名 / 備考」の文字列から検索するパワーサーチ機能を追加

39) 2010年6月10日

(機能追加)

・一部のパソコン環境において、とくに過去の古いバージョンの時に作成された伝票の日付が不正になっている状態のものを自動訂正する機能を追加した。これにより、エラーの修正が行われるが、場合によっては請求残高が変わってしまう可能性があり、それを検知した場合は表示するようにしています。

40) 2010年6月11日

(誤謬修正)

・一部のお客さまでバージョンアップをした直後のエラーチェックで停止してしまう現象を回避した

41) 2010年6月13日

(機能追加)

・棚卸一覧で、各支店だけでなく、合算した数量も表示できるようにした

42) 2010年6月16日

(仕様変更)

・いくつかの画面の表示形式を変更した

43) 2010年6月18日

(仕様変更)

・集計機能の粗利について、

(1) 売上传票明細の売上金額と原価を差し引いた粗利

(2) 商品マスタから原価を引用して計算した粗利

のように、まちまちであった計算方法をすべて(1)の方式に統一した。

したがって、計算金額がこれまでのものから変化してしまう可能性があるため、特にこれまでの集計結果を保管されていたお客さまの場合、注意が必要です。ご迷惑をおかけします。

44) 2010年7月6日

(誤謬修正)

・売上传票の明細の一行目が明細削除できなかった誤謬を修正

45) 2010年10月6日

(機能追加)

- ・請求書の様式にヒサゴ BP0304 を追加  
→ 環境設定から「白紙を使用する」ではなく「ヒサゴ」を選択してください
- ・隠し機能として、楽天 RMS データ作成機能を追加  
→ ご利用をご希望の方はお申し出ください
- ・その他一部処理の高速化

46) 2010年10月7日

(誤謬修正)

- ・ヒサゴでの印刷の時、締切日が常に「1日」となっていた誤謬を修正  
(機能追加)
- ・受注収支一覧の印刷ができるようにした

47) 2010年10月12日

(機能追加)

- ・受注収支一覧表で、商品毎にまとめた印刷ができるようにした。

48) 2011年1月20日

(機能追加)

- ・売上に関する伝票類のフォントを変更できるようにした  
(誤謬修正)
- ・マスタの「法人」項目がチェックされていない(=個人名)取引先の請求書を「御中」ではなく「様」と正しく印字されるようにした

49) 2012年2月12日

(大幅改変)

- ・登録件数が多くなるにつれ加速度的に負担になっていた棚卸計算、締め処理が劇的に高速化され、ほぼシームレスにストレスなく使えるようになりました
- ・ほとんどのウィンドウでウィンドウサイズが変更できるようになりました
- ・売上传票のみですが、伝票番号を自由に設定できるようになりました
- ・郵便番号を入力すると、自動的に住所が表示される設定が可能になりました
- ・見積書などの印刷様式変更
- ・伝票一覧のパワーサーチで、商品名も検索できるようにした
- ・その他、性能向上、仕様変更など多数

## 1) はじめに

### 1-1) 汎用販売管理ソフト「COSMOS」について

本ソフトは、一般的な販売・仕入・在庫管理に使用できる汎用的な能力を持ったコンピュータ用ソフトウェアです。

1) 納品書や月締請求書を発行できる

2) 売上、仕入とも、締め単位で集計できる「台帳」と、末日単位で集計できる「元帳」の二種類の表示が可能

と言った基本的な機能に始まり、各種集計機能も持っています。

COSMOS は、開発元である当社（藤森プロダクション）に何らのサポート／改造依頼をされなければ無料で使用できるソフトウェアです。

そう言った特徴（敷居の低さ）を踏まえ、たくさんのお客さまにご利用いただいた結果、日々改造・改良を加え、より良くなったソフトウェアをさらに皆さまにお使いいただくという好循環を繰り返す事により、パソコンが始めてのお客さまでも簡単に使え、「使って良かった」と皆さまに喜ばれ、未長く愛されるソフトウェア、必要とされるソフトウェアとなる事を願っています。

### 1-2) COSMOS の特徴

1) Mac,Windows のどちらでも使用できる

市場の90%以上を占めるWindowsパソコンのみならず、デザインや映像製作市場において強みをもつMacintosh (OS-X) でも動作し、とくにネットワークでの複数利用においてはMacとWindowsが混在した環境で同時に見積／請求データを操作でき、受注管理などが便利になります。

2) 複数の会社を管理できる

複数の会社を持たれている場合、それぞれに切り替えて使用できます。ただし、連結処理はできません。

3) 見積から受注、販売、仕入まで連動

見積時点で入力された金額、原価がそのまま販売や仕入まで転記されますので、転記ミスが少なく、粗利管理も容易です (Version1.0 より)。

4) 得意先ごとに単価を記憶できる得意先別商品別単価機能 (売上傳票)

5) 慣れてくるに従い、便利な機能が力を発揮します

「このお客さま、前にも同じものを買っていただいたが、いくらだったっけ？」

→ 売上傳票入力中に過去の伝票明細を検索・表示させ、さらにそれを今回

の明細として転記できる機能や、着目した以前の伝票をそのまま別の画面で開く事ができる機能

### 1-3) ご質問および問題点のご指摘など

本ソフトは、インストールや使用方法について、皆さまの今までのコンピュータをご利用になられて得られた知識やご経験、それにもとづく推理力・想像力を発揮していただき、当社に何らアクションを起こさずご利用いただくノーサポートの場合にのみ無料で、

- 1) 具体的な操作上のご質問
- 2) 「こうしたいのだが、どうすればできるのか？」
- 3) そもそも販売管理ソフトの意味が判らない、経理知識がないために使い方が判らない

と言ったご質問やアドバイスのご提供については有償とさせていただいております。

ただし、何も情報を開示しないで「勝手に使ってください」では、少くもコンピュータの知識があるからと言って困難ですし、何よりも時間の無駄を起させてしまい、本ソフトをご利用いただくメリットが相殺どころか悪影響を与えてしまいますので、当社といたしましては、本マニュアルの強化を常に図って行く所存でございます。

しかしながら、妥当な使用方法でご利用になられているにも関わらず、あきらかに動作に異常がある場合（伝票の合計金額が違っているなど）については逆に積極的な皆さまのご指摘をいただきたいと考えております。そういった状況に遭遇されましたら、まずはメールにてお知らせいただければ幸いに存じます。ご連絡をいただいた後、場合によってはこちらからお電話させていただき、事態改善に努めさせていただければと思います。

送信先：cosmos@fujimori-pro.gr.jp

(お客さまのお名前とお電話番号を文中にお書き添えくださいませ)

皆さまのご意見を元に、より良いソフトに進化させていきたいと考えておりますので、何とぞお力添えをいただけますよう、よろしく願いいたします。

なお、操作方法が不明なために、あるいは失礼ながらお客さまの思い込みや勘違いによって正常な動作を「異常である」と、ご指摘を受けるケースもございます。このあたりにつきましては、サポートの範疇に含めてご請求をさせていただくべきか、曖昧な部分も残っておりますが、これらの事例をホームページ上でFAQなどとして公開する事により、問題をすみやかに解決して行きたいと思っております。

#### 1-4) 本説明書について

本説明書は簡易版であり、また、ソフトの変化によってどんどん変更されていきますので、バージョンが変わった段階で、登録ユーザーさまにはご連絡をさしあげます。

#### 1-5) インストールについて

COSMOS には、インストーラなどはありません。ダウンロードされたファイルを解凍し、適切な場所に配置してください。

##### 1) Mac 版の場合

COSMOS.app (拡張子が見えない場合もあります) と名前の付けられたプログラムを任意の場所 (デスクトップや Application フォルダなど、好きな場所で構いません) に置いてください。

##### 2) Windows 版の場合

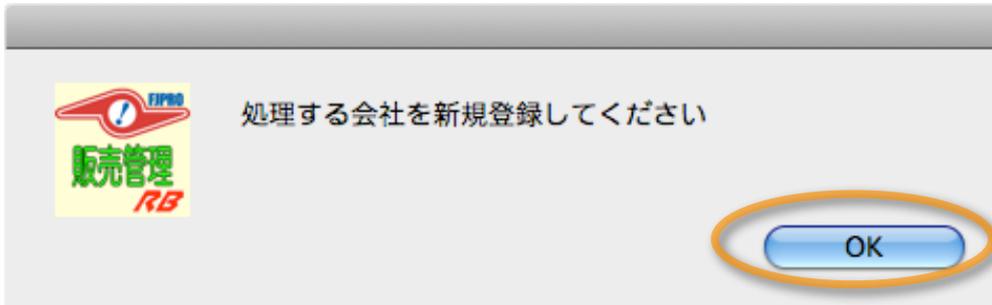
ProgramFiles の中に COSMOS フォルダごと格納していただき、その中の COSMOS.EXE ファイルのショートカットをデスクトップなどに配置してご利用ください。

#### 1-6) 旧バージョンからのアップグレードについて

バージョン 1.0 より、Windows 版のプログラムが単体ではなくなりました。過去のバージョンをお使いのお客さまがバージョン 1.0 にアップグレードされる場合は、それまで使われていたソフトはゴミ箱に入れていただき、上記「インストールについて」で記載した方法で適切にプログラムと関連ファイルを配置してください。

## 2) 初回の起動

初回の起動時のみ、以下のように会社の登録とデータファイルの保存場所の設定を求められます。

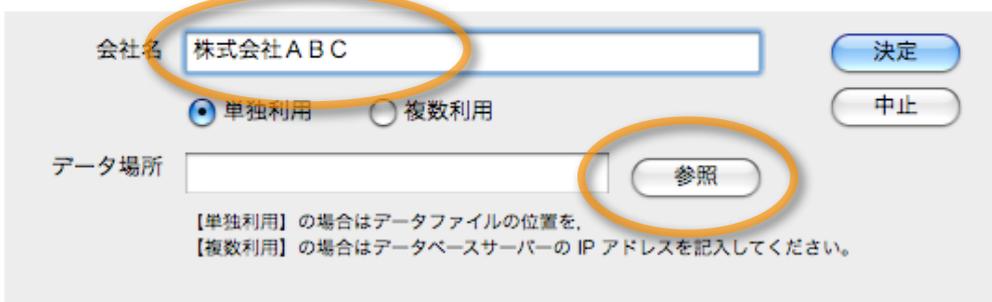


OK ボタンを押して、以下の手順に従って作業をしてください。

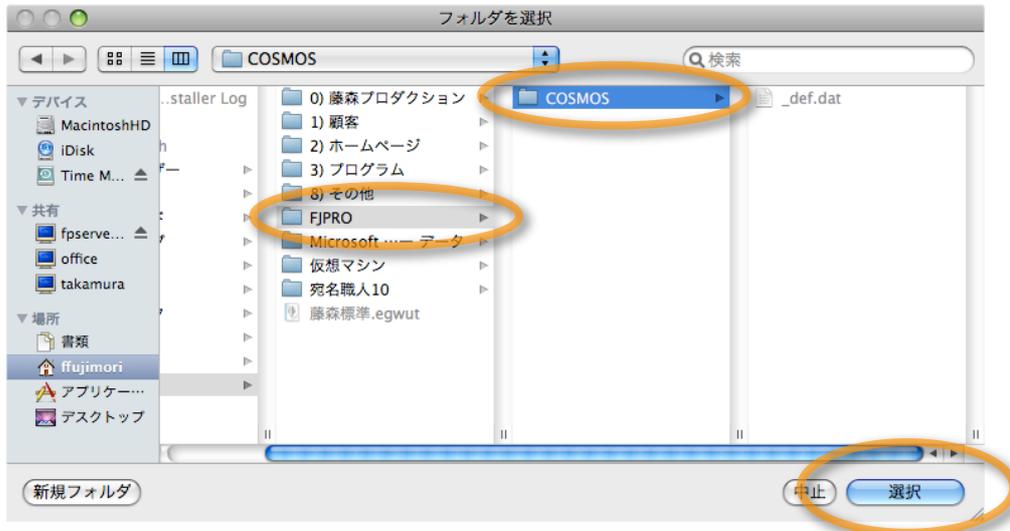
### 2-1) 登録した会社の一覧画面で新規ボタンを押します



### 2-2) 会社名を入力し、「参照」ボタンを押します



### 2-3) データの保存場所を指定します



本ソフトは、「My Documents (Windows)」「Document (MacOS)」に「FJPRO」→「COSMOS」というフォルダを作成します。スタンドアロン（単独使用）の場合は、通常、この中にデータを保管するようにします。データファイル名は「COSMOS.rsd」となります。

データを保管する場所を指定したら、「選択」ボタンを押して閉じます。

### 2-4) 「決定」ボタンを押します

会社名

単独利用  複数利用

データ場所

【単独利用】の場合はデータファイルの位置を、  
【複数利用】の場合はデータベースサーバーのIPアドレスを記入してください。

### 2-5) 登録した会社で実行します



登録された会社をダブルクリックします。以上で完了です。

### 3) スタンドアロン利用とネットワーク利用について

本ソフトは、単体のパソコンで動作させる事も、ネットワーク経由で複数のパソコンから同時に動作させる事も可能です。LAN 上で動作するパソコンは Mac でも Windows でも構いません。

LAN で複数のパソコンから本ソフトを動作させるためにはサーバー役となるパソコンに MySQL というデータベースをインストールしていただく必要があります。また、能力的には使用するデータベースの違いにより、スタンドアロンで動作させるよりもネットワークで共有利用とする方が「より高速な」動作となります。したがって、スタンドアロンで利用する際でも、技術的に可能であれば、そのパソコンに MySQL をインストールし、複数利用として使われる方が快適です。

サーバー役のパソコンは、MySQL がインストールできるものであれば機種は問いません。お詳しい方であれば Linux や MacOSXserver にインストールしてご利用いただく事も可能です。

以下に、現在当社で動作確認のできている MySQL のバージョンを示します。基本的には表記バージョン以上であれば動作するものと思われれます。

- 1) Linux MySQL 5.0.27
- 2) Windows MySQL 5.0.37
- 3) MacOSX MySQL 5.0.37

なお、MySQL プログラムパッケージそのものは MySQLAB 社のライセンスにより、当社ホームページからダウンロードできるような便宜が図れません。お手数ながら MySQL の公式ページからダウンロードをお願いいたします。

本ソフトをネットワーク化する手法については、一部操作が複雑な（MySQL コンソール上でデータベースを作成する）部分があります。この部分については、一度処理してしまえばあとは気にしなくて良いのですが、いずれ自動化しようと考えております。

#### 3-1) COSMOS をネットワーク対応にする手順

本ソフトをネットワークで利用する場合の手順を以下に示します。

- 1) MySQL をインストールする
- 2) 現在のデータのバックアップを取る  
→ マスタや伝票データを一件も入力されていないか、廃棄しても良い場合はこの作業は必要ありません。
- 3) 登録会社情報を変更する
- 4) MySQL 上でデータベースを作成する

5) バックアップを取ったデータをシステムに復旧する

→ ネットワーク対応にした状態から使い始める場合はこの作業は必要ありません。

### 3-2) サーバー役のパソコンに MySQL をインストールする時の注意事項

以下に、MySQL をインストールしていただく際の注意事項を列記します。

1) 文字コードは Utf8 とする

2) 可能であれば、データベース名やテーブル名を CaseSensitive に「しない」  
→ テーブル名やデータベース名、フィールド名の大文字と小文字を区別しない設定にしていただくとよいです（Windows 版の MySQL では何もしなくてもその設定になります）。

基本的に、本ソフトでは上記設定を誤っても正しく動作するようにプログラミングされていますが、もし、問題が発生するようであれば上記内容のご確認をお願いいたします。余談ですが、MySQL が 4→4.1 にバージョンアップした際には文字列の取扱いが激変し、プログラム修正が必要なケースがありました。今後、そういった事が起こらないとも限りません。

それから、MySQL を動作させたサーバー役のパソコンでは、TCP/IP の 3306 番ポートを使用できるようにしてください。ファイヤーウォールソフトをインストールされている場合はとくに注意が必要です。WindowsXP SP2 以上に標準でインストールされている WindowsFireWall も例外ではありません。また、TCP/IP の IP アドレスについては、DHCP など自動取得にせず、必ず固定の IP アドレスを設定していただくようお願いいたします。

MySQL のインストール時のルートパスワードは任意のもので構いません。

総じて、MySQL のインストールに関しては、Windows 版 →MacOSX 版 →Linux 版の順で難易度が高くなっています（Windows 版が一番インストールが簡単）。

### 3-3) データ退避の方法

スタンドアロン版でご利用になられていたデータを退避するには、COSMOS メニュー「管理」→「データ退避」を使用します。

本機能を起動すると、データのバックアップが開始されます。作成されたバックアップデータファイルは、デスクトップ上に「BKUP.TXT」というファイル名で作成されます。

### 3-4) 会社登録情報の変更

現在、スタンドアロンで設定されている会社情報をネットワーク用に変更します。メニューから「切り替え」を押し、現在登録されている会社を選んだ後、「編集」ボタンを押します。

会社名

単独利用  複数利用

データ場所

【単独利用】の場合はデータファイルの位置を、  
【複数利用】の場合はデータベースサーバーの IP アドレスを記入してください。

編集画面が表示されたら

- 1) 複数利用に切り替え
- 2) 「データ場所」に MySQL をインストールしたサーバー役のパソコンの IP アドレスを入力して
- 3) 「決定」ボタンを押す

と、会社情報の変更は完了です。

ここでいったんシステムを終了してください。

No	会社名	利用形態	データ場所
1	株式会社ABC	単独	MacintoshHD:Users:ffujimoriDo...

### 3-5) MySQL をインストールしたら（データベースの作成）

MySQL のインストールが完了したら、次に MySQL コンソール画面上でデータベースを作成します。

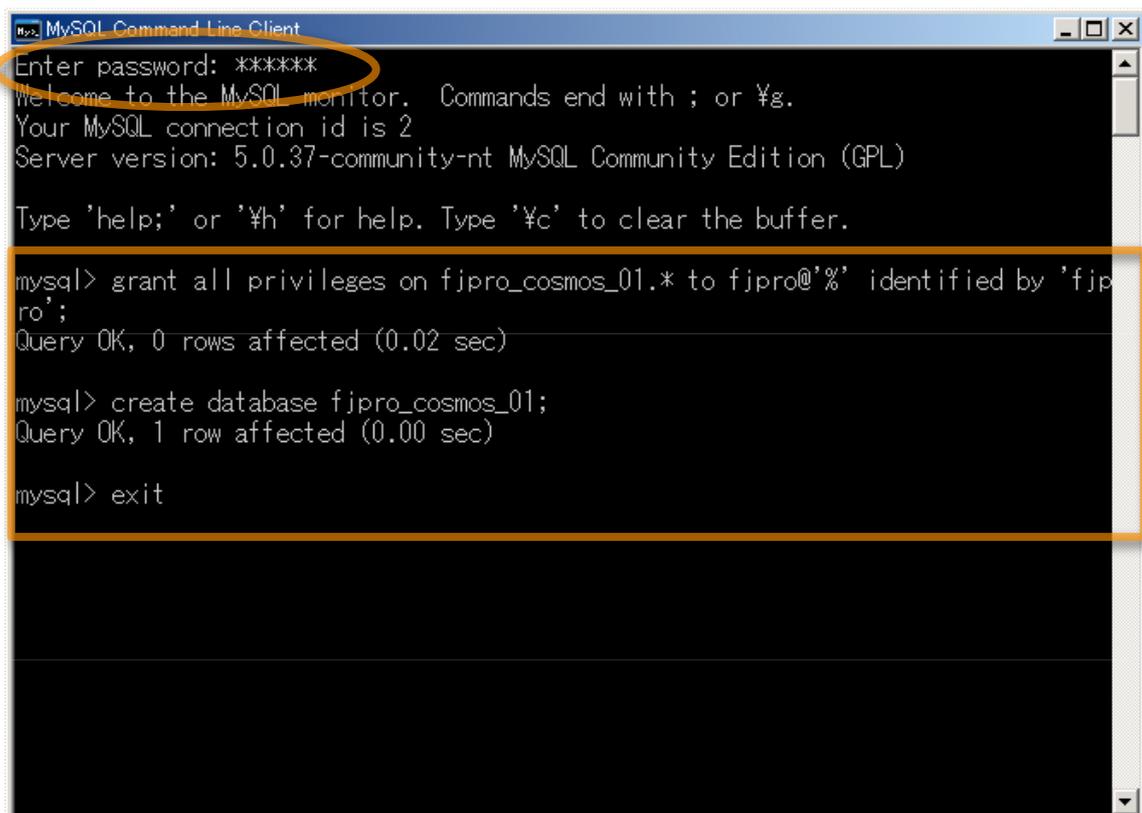
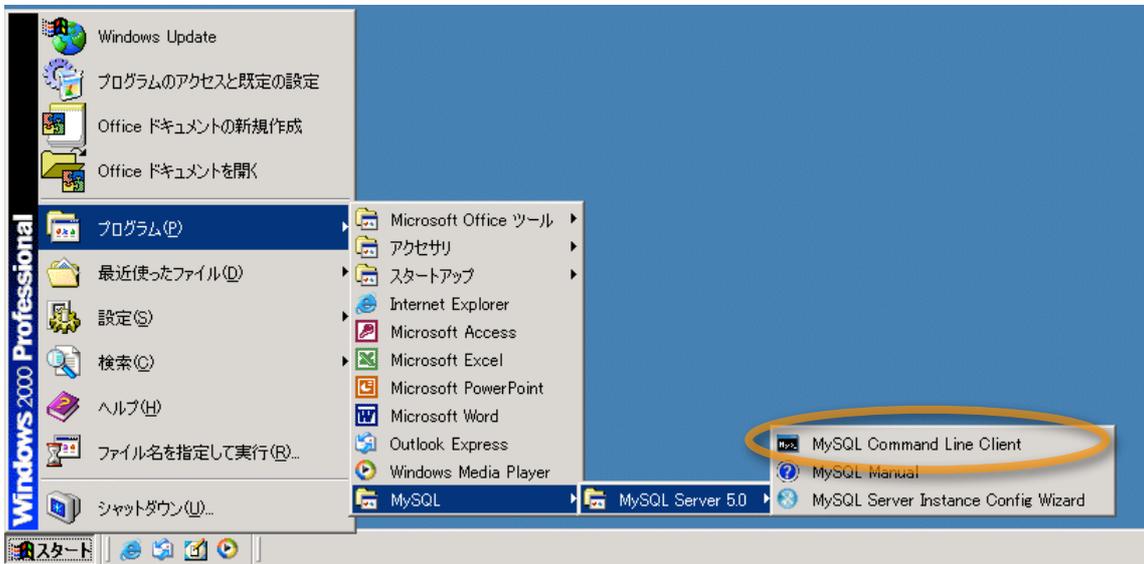
MySQL コンソール画面を起動し、以下のコマンドを入力します。

- 1) コンソールに入る時にインストール時に決定した root パスワードを入力する
- 2) grant all privileges on fjpro\_cosmos\_01.\* to fjpro@%' identified by 'fjpro';【RETURN】
- 3) create database fjpro\_cosmos\_01;【RETURN】

4) 最後に exit 【RETURN】 でコンソール画面を終了します。

※ (赤字部分の数字について) 上図のように一社目の場合は「01」ですが、二社目以降は「02」「03」と数字を変更してください。

Windows での画面を以下に示します。



### 3-6) バックアップを取ったデータを本ソフトに復旧する

「データ復旧」機能でデータを復旧したら、本ソフトをネットワーク化する手順は終了です。

## 4) 本ソフトをご利用になる上で知っておいていただきたい事

### 4-1) 各入力項目（フィールド）の移動方法

マスタや伝票などすべての画面に渡って入力する項目の移動は、マウスでその項目を直接クリックするのではなく、【RETURN】または【ENTER】キーを押すようにしてください。【TAB】キーでも大体の場合正常に動作しますが、取引先や商品を選択する項目や、日付を入力する部分などでは【RETURN】【ENTER】での移動は必須です。

### 4-2) 取引先マスタ、商品マスタの検索

本ソフトでは、しばしば「取引先データ」や「商品データ」を取り扱う局面が発生します。例えば、以下のような場合です。

#### 1) 伝票入力時の取引先データ

#### 2) 伝票入力時の商品データ

このような時、本ソフトでは、一貫して以下のルールを採用しています。

- 1) まず、入力フィールドに該当する取引先（商品）の名称の一部、型番の一部、読みかなの一部を入力します。

(図の例は取引先です)

- 2) ある程度入力したら、【ENTER】または【RETURN】を押します。  
→ 何も入力しないで【ENTER】 / 【RETURN】を押す事も可能です

- 3) 入力された内容からマスタを検索し、一致するデータが一件しかない場合はストレートにそのデータで決定します。
- もし、複数のマスタデータが検索された場合は、候補を表示し、選択画面に移行します。

取引先名	住所	TEL
株式会社 富士通	東京都港区新橋1-10-1	03-47-81-858
株式会社 日立	東京都中央区新富1-1-1	03-47-45-440
株式会社 三菱	東京都中央区新富1-1-1	03-47-28-118
株式会社 オフィスライン	東京都中央区新富1-1-1	03-47-27-228
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-377
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-45-091
株式会社 アライン	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-199
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-005
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-272
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-044
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-311
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-45-568
株式会社 エス	東京都中央区新富1-1-1	03-47-22-771

この画面では、キーボードの【RETURN】【ENTER】あるいは【ESC】のみ受け付けます。【ESC】は選択中止、【RETURN】【ENTER】はそのデータを選択する事を意味します。

こういった操作方法を使用する場所を以下に列記いたします。

- 1) 商品マスタの「仕入先」フィールド
- 2) 各伝票の「取引先」「納品先」「商品」フィールド
- 3) 各伝票の一覧画面の「取引先」フィールド
- 4) 各種集計画面での「取引先」「商品」を指定するそれぞれのフィールド
- 5) 請求書出力画面における「取引先」フィールド

ただし、見積、受注、発注、売上、仕入、伝票入力画面の「過去明細」での「商品検索」フィールドについては、明細に入力されている品名を直接検索するため、この限りではありません。

#### 4-3) 売価、仕入原価の設定について

本ソフトでは、商品の「売価」「仕入原価」を設定する事ができますが、その方法について以下に記述します。

「仕入原価」については、ひとつの商品に対してひとつ、そして「売価」については

- 1) どの取引先でも共通に表示される決まった売価
- 2) 取引先（得意先）ごとにそれぞれ固有の売価 → 得意先別商品別単価

の二種類を設定する事ができます。

まず、基本的な金額については、商品マスタの「定価」「売価」そして「仕入原価」項目に入力しておきます。すると、売上伝票や仕入伝票で商品を選択すると、マスタに設定されたそれぞれの金額が表示されます。

型番	cosmos-operation
定価	40,000.00
売価	0.00
単位	式
売上時消費税	外税
仕入先	藤森プロダクション
仕入金額	0.00

※ 商品マスタの画面です

たとえば、売上傳票でこの商品を選択すると、自動的に¥ 40,000- が明細に表示されます。また、仕入伝票では¥ 0- が表示されます。

次に、同じ商品でも得意先ごとに違う金額（得意先別商品別単価）を設定したい場合、取引先マスタの「定価 / 売価販売」設定を変更します（チェックをはずします）。

一般		売上	仕入
<input checked="" type="checkbox"/>	売上先として使用する		
消費税計上	請求単位		
消費税計算	切り捨て		
締日	31		
入金月	翌月		
入金日	31		
開始残高	274,4		
開始残高	274,4		
<input type="checkbox"/>	定価/売価販売	<input type="checkbox"/>	月締めのみ

※ 取引先マスタの画面です

このチェックをはずすと、見積、受注、売上の各伝票入力時の挙動が以下のようになります。

- 1) まず、すでに登録されているこの得意先専用の単価があれば、それを単価項目に表示します
- 2) もし、まだこの得意先専用の単価がなければ、商品マスタに設定されている標準の売価を転記します

つまり、商品の得意先別の単価は、商品に付随する情報ではなく、取引先に付随する情報と言う事です。取引先の設定から「定価 / 売価販売」のチェックをはずすと、すべての商品に対して個別の単価を設定できるようになります。

では、どのように得意先ごとの単価を設定するのか、その方法を以下に示します。まず、商品を検索し、明細の入力を始めます。

品名	S-133 MacBookPro	
新規入力中	単価	数量
	328,000	1

※ この時表示される単価（売価）は、商品マスタに登録されている標準の金額です次に、単価フィールドで、この得意先の単価を新しく入力し、【ENTER】または【RETURN】を押しますが（これは通常の動作です）、その際【SHIFT】キーも一緒に押しておきます。すると、フィールドが黄色に変化し、単価が記憶された事を示します。

品名	S-133 MacBookPro	
新規入力中	単価	数量
	348,000	1

これで、この得意先のこの商品の場合は ¥ 328,000- ではなく、 ¥ 348,000- が表示されるようになります。もちろん、他の取引先の場合はもとの ¥ 328,000- が使用されます。

この【SHIFT】キーを押したままで【RETURN】【ENTER】を押す方法は、通常単価表示の場合でも使用できます。得意先が「定価 / 売価販売」にチェックがついている（つまり個別商品単価を使用しない）状態でこのキーコンビネーションを行なうと、商品マスタの売価を変更します。

この方法を使用すると、わざわざ商品マスタに移動しなくても売価を変更できるので便利です。ここで説明した単価の変更方法は、仕入伝票の場合でも有効です（商品マスタの仕入原価が変更されます）。

#### 4-4) 在庫管理について

(現在、執筆中です)